

# デジタルファースト法案に関する提言

一般社団法人 日本IT団体連盟

2018/7/5



# 目的達成に必要なもの

## 目的

公的サービスのデジタル化  
公的情報のデータ化・オープン化により  
国民の利便性向上、環境負荷軽減、  
働き方改革

## 目的達成に必要なもの

1. CTO（エンジニア部隊）の設置
2. 統一UI
3. 正しいKPIの設定と達成期限の明確化

# デジタルファースト

1. システムを1700分の1
2. ユーザーインターフェイスの統一

# 1700とは？

同じ法律に基づく手続のためのシステムが1700存在

- 同じ行政手続のために1700の自治体がバラバラにシステムを構築
  - コストが1700倍。作成、メンテナンス、法律等の改正による変更が1700回。
  - ユーザーインターフェイスも1700個。自治体が違うと操作方法が分からない。
  - ホームページの構成も1700個。同じ情報を比較しにくい。
  - アクセシビリティの保障もバラバラ。
  - プロが設計しないインターフェイスは使えない。不便を国民に強いるシステムは誰も積極的には使わない。

## API提供、API解放以前の問題

システムを一にして1700分の1に

# ユーザーインターフェ이스の統一

- インターフェイスが各自治体で統一されなければ、国民の利便性向上等といったデジタル化の趣旨を没却させることになる。
- スマートフォン用に全国で統一したインターフェイスを採用すべき。
  - スマホはアプリかWEBかを決める必要があり、アプリの場合は一つに限定する。
  - 国民の利便性向上のためには、自動読み上げ、文字拡大、ふりがな機能、音声入力、手書入力などを標準装備したアクセシビリティの保障を担保する必要もある。
- 国民の利便性向上につなげるために、以下の要件が必要。
  - UIの改良を重ねることができるシステム設計
    - レイテンシーなどを考慮した負荷のないアクセスとログデータを活用しABテストの繰り返しできる等
  - 国や地自体向けのプログラムを扱うエンジニアの質の担保
    - エンジニアが高度プロフェッショナル制度の対象であることを要件とする等)
  - 開発されたシステムに関する知財を含めて権利は全て国に帰属

# CTOの設置

## CTOとそのチームの設置

- システムの構成、採用すべきテクノロジーの方向性を示すことができる優秀なエンジニア無しには成功しない。
- CTOを一人だけエンジニアとして採用しても業務が多すぎて稼働できないため、CTOのチームを設置する必要がある。
- CTOとそのチームは、国家公務員の従来 of 俸給表では採用できないため、グローバル水準の報酬の支払いをできるような法制が必要。

# 正しいKPIの設定

## KPIの設定方法の明示と達成期限の明示

法令上で国に対し、KPIを具体的に明示すること、各施策の達成期限を明記。確実に達成する仕組みが重要。  
その際、KPIを正しく設定するようなチェックの仕組みが必要。

EOF